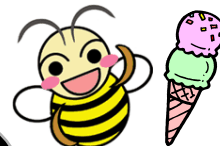


わーかーびいーNews



第 17 号

平成 20 年 8 月

編集：特定非営利活動法人わーかーびいー事務局

住所：札幌市厚別区上野幌 3 条 4 丁目 1 番 12 号

e-mail. info@workerbee.biz

tel.011-893-1199 fax.011-893-5599

URL: http://www.workerbee.biz/

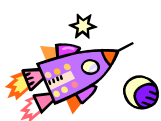
8 月になって、急に夏らしくなりました。日中と夜の気温差に、体調は崩されていませんか？

短い北海道の夏。夏バテなんて吹き飛ばして、この夏を満喫しましょう！！

お盆を過ぎれば、夏も残りわずかです。

近所の夏まつりや盆踊りに参加するのもいいですね(^_^)

第 17 号では、夏らしい話題をお届けできるかな???



経験の積み重ねの中から

夏休みも終わり、お盆も終わり、まっているのは日常生活。『リズムを整えて、体調も整えて...！』意気込みは大切だけど、ほっと一息つきませんか？ そんな合間に、わーかーびいーのこんな日常をご紹介します。

北海道にもようやく短い夏が訪れ、プール日和が続いている頃

今年もヘルパーとプールに挑戦！ 毎年のようにケアスタッフと 2 人でプールに入ることに挑戦しますが、なかなか上手いかない。アイスだけ食べてかえってくることもあり、20 回近く挑戦しているがごとく失敗。今年はお母様の力を少し借りて、ご本人、お母様、ケアスタッフと 3 人でトライ。最初に受付を済ませたケアスタッフが更衣室で待ち構え、お母様と入ってきたご本人をケアスタッフが引き継ぎ、プールへレッツゴー！ お母様が離れても「入れた！成功！」 まだ時間はかかるかもしれないけれど、いつかお母様がいなくてもご本人の意思で入れるように・・・。

在宅でご家族と生活している彼。太郎にショートスティに来たときは、家族から離れて少し大人な気分。ゆっくり好きな CD を聞きながら時間を過ごす。いつのまにか食事の準備や片付けも職員と一緒にこなったり、お布団を敷いたり、家庭では家族が当たり前にしてくれることを太郎ではいつのまにか自分からやっている。一人でできることが本当はたくさんあるのに、家族の前だと甘えてしまう。ゆっくり時間をかけて、身近なところから自立生活への第一歩・・・。

ゆっくり、ゆっくり。ありふれたケアの積み重ねでも、家族以外の人と過ごす時間の中でも、みんな一歩一歩前へ進んでいる。その人その人で歩幅は違うけど、着実に前へ・・・そんなことにいつも気づかされます。

行事報告：わーかーびいーと夏

お泊まりチャレンジ

こんなことやったよ！

8 月 12～13 日、お泊まりチャレンジで、高校生以下の計 名と、砂川に行ってきました。こどもの国でたくさん遊んでから夕食。夜にはホテル鑑賞ツアーに参加し、きれいな星空のなか、みんな最後までしっかり歩ききることができました！

2 日目は砂川ハイウェイオアシスでそれぞれおみやげを買い、帰りには美唄の温泉につかってから札幌にもどってきました。

2 段ベッドが嬉しくて走り回ったり、こどもの国の遊具に夢中になって降りられなくなったりするハプニングもありましたが...この夏休みにしか体験できない思い出ができたのではないのでしょうか。参加して下さったお客様ありがとうございました。また、ご協力いただいたボランティアさんありがとうございました。

《わーかーびいーと夏 担当：渡邊・丸山》



行き先は お決まりですか？

千歳市 名水ふれあい公園

千歳市は蘭越にある「名水ふれあい公園」は、「日本名水百選」に選ばれたナイベツ川湧水と千歳川が一度に楽しめる公園です。園内では、美味しい湧き水が汲める他、川のせせらぎに合わせて散策路が敷かれています。水遊び大好き！なみんなに嬉しい、夏にピッタリの公園です!! ただ、川に近いので夏でも水温が低いことがあります。冷たくて入れないときは園内に大きな噴水があるので、そちらで思う存分バシャバシャどうぞ

千歳川の本流がすぐ側を流れているので、秋には産卵を終えた鮭を見ることもできますよ！また、公園に隣接する「千歳市蘭越浄水場」では千歳市の飛行場に初めて着陸した古い飛行機を間近で見られることもできます！

晴れた日に、バスタオルや着替え、お弁当を持って水遊びはいかがでしょう？

所在地：千歳市蘭越 問い合わせ先：千歳市水道局浄水場 0123-23-3442

交通：千歳駅から中央バス「支笏湖畔」行乗車、「千歳桂病院前」下車、千歳方面へ徒歩5分

利用料金：無料 駐車場：無料(15台)・車いす用トイレ有り

開園：4/26～11/15、10:00～18:00



気になる木

なぜ私が「気になる木」を書くことになってから3回目。

もうネタが尽きた、というわけでもないのですが、今回は個人的な趣味で、車の話を。

数年前まで、オープンカー（といっても中古の軽自動車ですが）に乗っていました。乗ってみて実感したのは、車の屋根はなくてもいい時があること。むしろない方がいい時もあるのです。

雨の日や雪の日、暑い日や寒い日など、屋根が必要な時は多いのですが、いつもそうとは限りません。そんな時に屋根を外して走り始めると、世界は一変します。今まで囲いの中に閉じ込められていたのがうそのように、自分が外の広い世界の一部になるのです。この楽しさは、一度知ってしまうと忘れられません。今は私もちりと屋根の付いた車に仕方なく乗っていますが、機会さえあれば今すぐにでもという思いは持ち続けています。

入所施設からグループホームや一人暮らしに移行した方々の、「施設には戻りたくない」という声を見聞きするとき、私は普通の車とオープンカーの違いの事を思い起します。「支援」という屋根も、必要な時にあればいいのだな、と思い知らされるのです。

かいけつ太郎 行動援護サービス提供責任者 小室聡司



えぼっく情報 えぼフェスタ2008開催！

日時：9月6日(土) 10:30～14:00

場所：社会福祉法人えぼっく

(南幌町栄町4丁目3-15 TEL011-378-5700)

飲食コーナー(カレーライス、うどん、焼きそば、やきとり、ドリンク各種)

販売コーナー(紙すき、陶芸、アクセサリー、取れたて野菜)

体験コーナー(紙すき、陶芸)

*無料のヨーヨーつり・わたあめ・わなげもあります。

クーポン券販売中

作業体験、お食事、えぼっく製品の購入にはクーポン券が必要となります。フェスタ当日、入口にてお買い求め下さい。

また、「えぼっく」、「わーかーびいー」にて、お得な前売券を販売しています。

前売券 500円

(50円券×11枚つづり)



《編集後記》夏本番！と思いきや、すでに夏は終りに近づいていますね。帯広の大きな花火大会は、圧巻ですよ。

数年前に行ったことがあります。来年こそは...。夏休みといえば...後半は宿題に追われてひーひー言っていたのを思い出します(^.^)A私はいつも、ドリルは最終日に片付ける派でした。貫徹で登校した学生時代...痛々しい思い出です。夏休み最後の日に悔いの残らないように。夏休みは計画的に...(^皿^;) 《高橋未和》

< 特定非営利活動法人わーかーびいー >

障がい福祉サービス事業所 かいけつ太郎～ケアサービスステーション/ 指定相談支援事業所 ますとびいー

〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号 TEL011-893-1199 FAX011-893-5599

障がい福祉サービス事業所 とんとん

〒002-0855 札幌市北区屯田5条4丁目1-67 東側 TEL011-887-8173 FAX011-887-8174

千歳市障がい者総合支援センターChip (千歳市委託事業)

石狩圏域障がい者総合相談支援センター夢民 (北海道委託事業)